

自動車保険だより

2019.3 Vol.7

中面特集
「青年教職員は今」

中面特集に登場した木所聡さんが自己ベストを更新したハーフマラソンで、折り返し地点を過ぎても快走する姿です。



30代前半、多摩地区で独りで生きていくためには車が必要だと思い、夏休みの最終日に教習所に申し込み、勤務時間が終わればひたすら通って免許を取った。部活も副顧問でいられたし、今よりも格段に自分の時間があつたので、都民の日に仮免、中間試験の午後に休暇を取って本免の試験。冬のボーナスで中古車を購入した▼その一台目はガードレールなどによく擦ってしまい傷だらけだった。二台目の車ではよく旅行した。元同僚と休業中の部活の休みを合わせて交替で運転し、北海道にも九州にも行った。カーナビなどない時代、車には全国の地図を載せていて、助手席でも地図を見たり次の食事や宿泊の場所を決めたりで忙しかった。でも、日本列島のどこを走っているのか全体像がわかる地図の良さがあつた▼今は三台目。乗る機会が少なくなつてピカピカのままでいたのだが、昨年から実家で介護が必要になり、車が大活躍。田舎に置いたままにして皆で利用している。桜保険に申し込んで付けたドラレコが、運転を褒めてくれたり注意してくれたりして、私たちが家族を励ましてくれている。



東京都教職員組合
副委員長
名越 真理子

青年 教職員は今



元気に学び合う青年教職員が集まると聞いて、

「*りんく！」会場の

板橋区立中根橋小学校を訪問しました。

青年教職員の今の姿を取材しました。



学びの場、
つながりの場
「りんく！」に参加

訪問したのは1月26日に開催された都教組青年部学習会「りんく！」。今回は「子どもに学ぶ楽しさを子どもサポートで笑顔の家庭増やしたい！」と題する講演会です。講師は、高山陽介さん。主に不登校や発達の課題に悩みを抱える親子をサポートする学習塾「わでかくらぶ」の代表を務めています。「わでか」とは「子どもにわかるおもしろさ、できるよろこび、かんがえるたのしさを」の頭文字だそうです。

高山さんは、自身が「わでかくらぶ」を立ち上げた経緯を語りながら、子どもたちや保護者から気づかされたことや彼らに伝えていることなどを具体的に挙げて子どもの方や学習の意味を話してくれました。最後に「先生たちに伝えたいこと」として「異業種の方ともつと交流を」「保護者のほとんどは先生の応援者」「二人で抱え込まず一緒に楽しみながら変えていきましょう」と話し、参加者を励ましました。

講演後、小グループに分かれての討論会となり、参加した青年教職員が熱心に感想や悩みを出し合っていました。

討論会后、桜保険からも今募集中の教職員賠償責任保険の紙芝居を上演しました。会場内には桜保険の相談コーナ

ーも設置して「共済カフェ」風に飲み物やお菓子の提供もしました。



絶好の機会なので、お二人から日頃の教育実践の様子や青年部活動、そして保険のことなどをお聞きしました。

「勉強大好き」を
応援できる力を持ちたい！
山田将司さん

講師の高山さんの人柄が素敵でした。ご自分の生い立ち、仕事で体験されてきたこと等を率直に語ってくれて、それが土台になって今の自分があることを自己開示してくれたことに感心しましたし、信頼できました。教師も子どもに対して自分のありのままの姿を出すことで、子どもにも安心して信頼してもらえることが必要と思えました。特に2つのことを印象深く学びました。



1つは、すぐに答えを出さなくてもいいんだということ。学校での生活や勉強ではつい教師は子どもにも自分にもすぐに



- 1 木下雅英都教組委員長 (左端)と一緒に
- 2 講師の高山陽介さん
- 3 桜保険の相談コーナー、お茶とお菓子
- 4 桜保険の教職員賠償責任保険の紙芝居

*「りんく!」は都教組青年部の学習会・交流企画の名前です。毎年様々な分野で活躍する講師を招いて学び交流しています。

答えを求めてしまいがちです。でも、大切なのは答えを考えたり、悩んだりする過程で、それを子どもと共有したいと思えました。もう一つは、大人のやらせたいことと子どものやりたいことがずれていることの方が多いということ。そのズレやずれ違いを認識して修正できる力を教師として持ちたい、持たなければと思えました。高山さんも話されましたが、子どもはもともと勉強することが好きです。大人が嫌いになっているのです。子どもの「勉強大好き」を応援できる力を教師として持ちたいと思いました。

討論の中では、中学校の部活の休日出勤で大変とか、これから年度末、新年度の準備で大変とか、異動したばかりの悩みとかが出されました。

保険については、前はバイクに乗っていたので自動車(バイク)保険にも加入していました。今はバイクを手放したので、機会がきたらバイクにも乗りたいと思っています。都教組自動車保険は、事故を起こした時の対応が優れていると聞いたので、その時はよろしくお願いします。

もっ子どもたちへ
触れ合える時間がほしいー
木所聡さん



新任1年目で一番衝撃的だったのは、担任した子どもたちと遊びすぎて先輩教師に怒られたこと。慣れないクラス運営で困っていると子どもたちが助けてくれたのも印象的でした。教師としてのやりがいやはり子どもたちの成長に出会えること、できないことができるようになった時の子どもたちの笑顔に出会えることです。放課後などにもっと子どもたちと触れ合える時間が欲しいと感じています。

都教組の青年部との出会いは、同僚の先生から青年部の学びの場を紹介されて参加するようになったのが最初でした。これまでも様々な学びの場に出してきましたが、組合の場合は、地域を超えて全都の多彩な教職員と交流できるのが魅力です。

結婚して生命保険に入りました。これから保険でもお世話になることが多くなると思いますので、よろしくお願いします。

木所さんは、小学校の頃からサッカーや長距離走が得意で、今も休日にはマラソンを楽しんでいるスポーツマンです。今回その雄姿を表紙に使わせてもらいました。

HPに答えのヒントがあるというこ
とで、HPを見てみました。「よくある
質問」コーナーがカテゴリー別に分
かれていて、見やすかったです。ヒ
ントを探すことを、思わずわすれて
しまいました(笑)
(吉田 裕介様)

私の知り合いにも、檜原村の小中
学校で教師をしていた方がたくさ
んいます。西多摩地区の羽村か
らとつても近い檜原村、涼を求め
て近々行ってみたいと思います。
(Y.S様)

檜原村の豊かな自然を味わいに
行ってみたいになりました。
(N.H様)

檜原村は大好きな場所です。都
民の森へは何度も訪れていま
す。若いエネルギーが豊富な先生方
が地域に溶け込んで、教員として
頑張っている事がわかり
嬉しい気持ちです。
(菅野 玲子様)

今回のクイズはこちら

50名様に
1,000円分の
図書カードを
プレゼント!



おめでたい日に登場する踊りです。
桜保険の12月末のホームページに登場した
伝統芸能は次のうちどれでしょうか?

1.天狗舞 2.獅子舞 3.龍舞

*クイズおよび抽選の実施者は東京都教職員組合・東京都障害児学校教職員組合です。

- 応募締切：2019年5月31日(金)当日消印有効
- 応募方法：郵便ハガキに、クイズの答えと郵便番号・住所氏名・ご意見・感想をご記入の上、桜保険事務所までご応募ください。
- Webでの応募方法：桜保険ホームページの最新ニュースの「ヒント」にある応募方法でご応募ください。
- 抽選・発表：正解者の中から厳正な抽選のうえ、当選者に図書カードを送付し、発表とかえさせていただきます。
- 注意事項：いただいたご意見を自動車保険だより作成のために利用させていただくことがあります。いただいたご意見を紙面に掲載させていただくときには氏名を表示させていただきます。※お客様の個人情報は厳重に管理し、商品の抽選・発送・お問合せにのみ使用します。
- 送付先：〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17桜保険事務所気付自動車保険だより編集委員会「クイズ」係

桜保険の
ホームページに
答えの
ヒントが...

桜保険 検索

前回の
クイズの答えは
「秋川」でした。

投稿大募集

写真やイラストの投稿をお待ちしています。
採用された方には謝礼をお送りします。



編集後記

春は出会いと別れの季節。
この春から新たなチャレンジをしたり、新たな環境で
スタートしたりする方も多いことでしょう。
新しい仲間を迎える職場で、おすすめしたいのが「共済
カフェ」です。美味しいお菓子を囲んで、お互いに交流
する機会にもなります。
多忙な職場に、「共済カフェ」で春の風をはこんでみま
せんか。

自動車保険だより編集委員会
TEL.042-467-4152 FAX.042-461-0366

自動車保険だよりVol.7 (2019年3月)
発行元/〒188-0011 東京都西東京市田無町3-2-17 桜保険事務所内

桜保険ミニショット



法人の契約にもドライブレコーダーがつけられるようになりました。さっそく、職員の研修も兼ねて事務所で使用している車にドライブレコーダーを取り付けました。

